

祝吉地区地域福祉活動計画

未来につなぐ笑顔のまち祝吉
～ありがとうをいっぱい咲かせよう～



早水公園あやめ園の風景

令和8年3月

《祝吉地区地域福祉活動計画策定委員会の皆さん》



～あやめのまち祝吉の支え合いの計画に向けて～

祝吉区福祉計画の策定にあたり、地域の皆さまと共に、より良い福祉のあり方を考える機会をいただきました。

これまでの計画を改めて確認しながら、地域の実情に即した課題や、今後取り組むべき方向性を整理し、計画に反映してまいります。福祉の範囲は広く、多様な支援が求められますが、地区社協をはじめ、各委員の皆さまの経験と知恵をお借りしながら、無理のない形で実現可能な内容をまとめていきたいと考えております。

高齢者や支援を必要とするご家庭が安心して暮らせる地域づくりを目指し、委員会として力を尽くしてまいります。

今後とも温かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。



祝吉地区地域福祉活動計画策定委員会
委員長 山口 洋一

策定委員会の進め方

全5回の委員会では祝吉内をはじめ、地区社協役員のおすすめの店のお菓子を準備しました。

第1回

過去5年間の祝吉地区での地域活動で感じた良い変化のエピソードを出し合い、共感したものに投票。各グループ一つのエピソードを深堀し、大事にしてきた価値観を共有しました。キーワードからのテーマ：「未来への希望☆」「真正面の愛、まごころ愛」「子ども達と一緒につくる未来」



第2回

第1回で出し合った委員全員のエピソードを深堀し、日頃大切にしている価値や意義のあるキーワードを出し合い、整理しました。キーワードの一部：「楽しい・ありがとう」「絆」「ボランティア」「参加」「成長」「継続」「地域の力」



第3回

第1回、2回で出し合った大事にしたい価値観を改めて共有し、それぞれの事業の行動指針と照らし合わせながら、これから取り組みについて話し合いました。



第4回

これからの取り組みを実現していくために必要な「組織体制」「財源」「事務局機能」「拠点」の視点から、各委員の立場から具体的な意見を出し合いました。今回は渡瀬委員のご厚意によりコメダ珈琲店の美味しいお菓子と珈琲をいただきました。



第5回

これまでの協議シートを全員で見直し、これまで出し合った大事にしたい価値観（キーワード）を基に令和8年度からのスローガンを考えました。新スローガン：未来につなぐ笑顔のまち祝吉～ありがとうをいっぱい咲かせよう～



地区社協のあゆみ①（設立年月日、活動の経緯など）

【歴史】

- S57 祝吉地区福祉推進委員会発足
- H10.5.25 祝吉地区社会福祉協議会発足
- H15 地域福祉計画づくり（あやめ福祉を語る会）
- H15.6.30 在宅介護者のサロン「ほほえみの会」
- H16.5.18 親子ふれあい「茶っぺいサロン」発足
- H20～ 小学校参観日預かり保育（祝吉小学校）開始
- H21 子育て応援隊体制整備推進事業（モデル事業）
- H21～ 小学校参観日預かり保育（川東小学区）開始
- H22 祝吉地区茶っぺいサポート発足（H24 終了）
- H24 学校でのボランティア活動開始
- H30.1.24 スマイルカフェ祝吉発足

【受賞歴】

- H14 年度 都城市社会福祉協議会 会長表（H15.3.8）

【主な事業】

- 福祉なんでも相談
開設日に祝吉地区公民館で実施。
《毎週月・火曜日 10時～15時（祝日除く）》
- スマイルカフェ祝吉
地域のボランティアのみなさんの手料理が食べられる地域食堂として毎月第3土曜日に開催。
- 親子ふれあいサロン「茶っぺいサロン」
毎月第3火曜日に開催。サロンの後にはお茶やお菓子を楽しみながら保護者やボランティアが交流・相談等ができる《茶っぺいタイム》を開催。
- 自治公民館長・民生委員児童委員合同学習会
様々なテーマで学習会を行い、その後、交流会を図り様々な情報交換や交流の場として毎年開催。
- 地域・社会福祉施設等意見交換会
地区社協と地域内の施設との意見交換をR6年より開催。
- 料理教室
- ボランティア研修会
- 広報誌「あやめ」の発行

【組織・体制】

- 会長1名、副会長2名、事務局長1名、会計1名、事務局員2名

【構成】

- 自治公民館連絡協議会、民生委員児童委員協議会、第2層生活支援コーディネーター、地域住民

地区社協のあゆみ②（トピック）

【トピック①】

スマイルカフェ祝吉



つながりやふれあい、新しい出会いのきっかけとなる「みんなの食堂」。

地区内の女性連絡協議会、民生委員児童委員協議会、社会福祉施設等連絡会の加入施設の協力を得て毎月第3土曜日に開催。

【トピック②】

茶っついサロン



親子で気軽に参加でき、親同士、子ども同士がお友達になれる親子ふれあいサロン。地区内外からの参加者はもちろん、地区内の児童施設も参加。

地区内民生委員児童委員協議会、地域住民のボランティアの協力を得て毎月第3火曜日に開催。

【トピック③】

ボランティア座談会



ボランティア活動をされている祝吉地区の住民の方を対象に座談会を開催。

民生委員や各自治公民館のボランティアの方をはじめ学習支援、ファミリーサポートの援助員で活躍されている方が参加くださり、普段の活動の様子やボランティアに対する思いを参加者みんなで共有する時間となった。

創造の道すじ ～笑顔と安心を生み出す「好循環（サイクル）」～

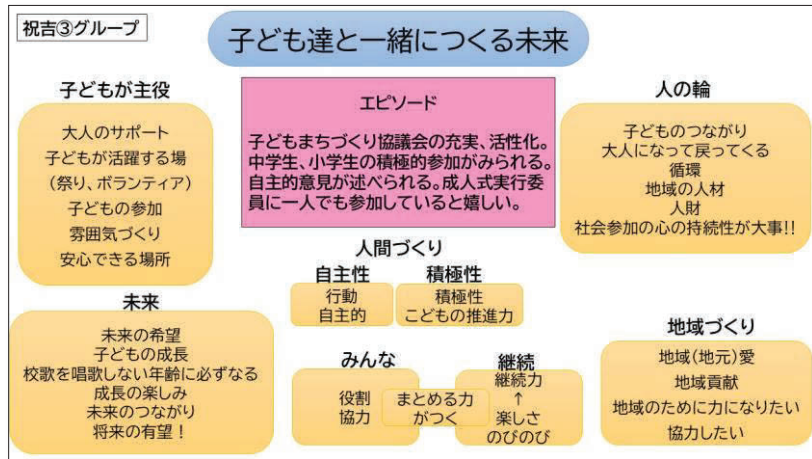
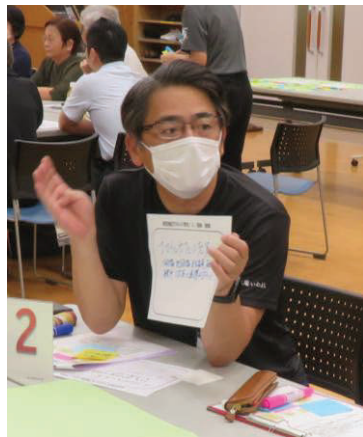
第5次地域福祉活動計画を策定するにあたり、全15地区で現状の「課題・願望」と未来への「想い」をシートに書き出しました。そこには現場のリアルな熱い想いが詰まっています。

1. 地区の全体スローガン：これから5年間の目指す地区全体の指針とは？

⇒第5回策定委員会（最終回）では、地区全体のスローガンを決めました。

2. 行動指針：地域での活動や取り組みを導く大事な価値観とは？

⇒第1回～2回策定委員会では、「最もすごいチェンジ」を出し合いました



◆第5次都城市地域福祉活動計画「祝吉地区地域福祉活動計画シート」（抜粋）

地区全体スローガン	行動指針	活動・事業	課題・願望
未来につなぐ 笑顔のまち祝吉 ～ありがとうを いっぱい咲かせよう～	おいしいごはんを囲みながら世代や地域の交流を深め、家から外に出るきっかけとなる“誰もが参加できる温かい場所”となろう。	スマイルカフェ祝吉 祝吉の「みんなの食堂」 日時：毎月第3土曜日 場所：祝吉地区公民館 協力機関（祝吉地区） ：女性連絡協議会 ：民生委員児童委員協議会 ：社会福祉施設等連絡会	▲課題 参加人数が増えない ●願望 月2回の開催

これまでの活動を整理し、未来へ向かってどう進んでいくか、「その道すじ（ロジック）」を解説します。

3. 実現に向けて必要なこと：その価値観を大事に、実現に向けて必要なことは？

⇒第3回～4回策定委員会では、「これから取り組むこと」「何が整えば実現できるか」を話し合いました。

【入り口（楽しさ・共感）：人が集まる】

多世代・笑顔・わくわく・サロン・顔見知りを増やす・参加へのハードルを下げる

↓ ここから信頼が生まれる ↓

【深まり（信頼・支え合い）：相談できる】

ちょっとした困りごと・キャッチ・見守り・楽しい場でできた関係性から

↓ これが安心をつくる ↓

【土 台（持続可能な仕組み）：無理なく続ける】

拠点・IT・自主財源

新「地区社協」創造への道すじ

実現に向けて必要なこと

目指す
地区社協像

※これ以降を参照

これから取り組むこと

- 【地域ネットワークを活かした活動推進】
- ・地区内の各団体、施設、企業とつながり、活動の幅を広げていく

何が整えば実現できるか

- ①【組織体制】誰が？
 - ・学校より家庭へ周知してもらう
 - ・不登校児の家庭訪問に民生委員が同行して家庭とつながる
 - ・学校行事に参加したボランティアのつながりでスマイルカフェ祝吉の周知を行う
- ②【財源】お金はどこから？
 - ・都城市地域活性化事業の補助金
 - ・寄付
 - ・参加費
- ③【事務局機能】どのように？
 - ・地区内関係機関との意見交換にて再協力の依頼をする
 - ・対象者を明確にし、目的や想いを共有する機会を作る（館長×民児協合同学習会や施設との意見交換）
 - ・小、中学校との意見交換会を開催する
- ④【拠点】どこで？
 - ・多くの人への周知のため毎月同じ日に地区

第5次都城市地域福祉活動計画の体系図

第5次都城市地域福祉活動計画 全体スローガン

笑顔でつながり 未来を綾なす 新しい地域

新「地区社協」創造

3つの行動原則

1. 「ゴール」を目指す姿 笑顔が集まる、誰もが主役になれる居場所をつくる
2. 「エンジン」推進力 多様な力とつながり、広がる共感で地域を動かす
3. 「ベース基盤」 小さな「困った」を見逃さず、無理なく支える仕組みをつくる

実現のための4つの創造

1. 組織体制：「固定化」から「チーム戦」へ
2. 財源：「依存」から「稼ぐ力・応援される力」へ
3. 事務局機能：「事務処理」から「つなぎ役」へ
4. 拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ

15地区地域福祉活動計画

姫 城／「優気」をもってふれあって 学びあってつながろう 姫城の宝たち ～姫 LOVE 増殖中！～

妻ヶ丘／笑顔で声かけ 未来へつなぐ 妻ヶ丘

小松原／世代をこえて 笑顔でつながる 小松原

祝 吉／未来につなぐ笑顔のまち祝吉 ～ありがとうをいっぱい咲かせよう～

五十市／誰もが まんなか 活気あふれる いそいち

横 市／みんながつながる横一愛

沖 水／ささえ愛 笑顔でつながる 沖水の和

志和池／みんなの笑顔でつながる未来へ ほっぶ すてっぶ 志和（しゅわ）っ池（ち）！

庄 内／地域を愛し、お互いさまの心でみんなが支え合うまち・庄内

西 岳／西岳1チーム お互いさまでほっこりにっこり～ぼちぼちやっみろかい～

中 郷／みんな元気 笑顔あふれる なかんごう ～こども・未来・絆～

山之口／すべての住民が、いつまでも住み慣れた地域で豊かに生きがいを持って生活するために

高 城／未来へつながる ほっこり思いやりのまち高城

山 田／ふれあい、ささえあい、つながりあう 福祉のまちづくり

高 崎／支えあい未来につながる★きらり★高崎

都城市社協経営基盤強化計画

1. 組織・人材

2. 財政

3. 事業

4. 拠点

MSCのエピソード

○活動を通じて地域でおこった変化「良かったこと」「うれしかったこと」

※Most Significant Change (MSC) ≡ 「最もすごいチェンジ」



子どもまちづくり協議会
の充実、活性化。



地域の会議や集まりなど
に声を掛けていただける
ようになった。



園庭が広がって保育園に帰
ってくる卒園児が増えた。



茶っていサロンに1組の親子
でも参加して下さることに
感謝。



地域の方がゴミを拾いなが
ら散歩しており、真似する
ようになった。

ほかにもこんな素敵なエピソードがありました！

- スマイルカフェに高齢者が参加するようになった。
- 地区内の夏祭りが盛大だった。
- 民生委員の活動の中の親子ふれあいサロン茶っていサロンの活動で地域外の人
も参加して下さり毎回楽しく活動している。
- 横断歩道を渡る時の小学生の安全確認や挨拶が気持ちいい。
- あやめ祭りですばらしい演芸を見ることができた。
- 在宅クリニックが2ヶ所開設した。

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>祝吉の拠点となるために安心して相談できる場、気軽に話ができる場を作ろう。</p>	<p>①福祉なんでも相談</p> <p>日時：毎週月・火 10：00～15：00 場所：祝吉地区公民館 相談員：2名体制</p>	<p>【名称変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称を「お茶会室」など親しみやすいものに変更し、お茶を飲みながら話せる場として気軽に立ち寄れる環境を整える <p>【周知活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談日を広く周知するため、公民館にポスター等の掲示を行う
<p>おいしいごはんを囲みながら世代や地域の交流を深め、家から外に出るきっかけとなる“誰もが参加できる温かい場所”となろう。</p>	<p>②スマイルカフェ祝吉</p> <p>祝吉の「みんなの食堂」</p> <p>日時：毎月第3土曜日 場所：祝吉地区公民館 協力機関（祝吉地区） ：女性連絡協議会 ：民生委員 ：社会福祉施設等連絡会</p>	<p>【地域ネットワークを活かした活動推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の各団体、施設、企業とつながり、活動の幅を広げていく
<p>親子が気軽に参加でき安心して過ごせる居場所を大切に、立ち上げの想いと感謝の気持ちを忘れず、ボランティアも参加者も一緒に楽しみながら活動を続けていこう。</p>	<p>③茶っぺいサロン (親子ふれあいサロン)</p> <p>日時：毎月第3火曜日 場所：祝吉地区公民館 協力機関：民生委員 ：地域のボランティア</p>	<p>【周知活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子が平日に気軽に参加できる場として情報発信していくためSNSなどのデジタルを活用する <p>【場作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶っぺいタイムを復活させ、お茶を飲みながら気軽に子育て相談ができる場にする（福祉なんでも相談を同時開催）

笑顔のまち祝吉～ありがとうをいっぱい咲かせよう～

<p style="text-align: center;">実現するために必要なこと</p> <p style="text-align: center;">①組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</p>	<p style="text-align: center;">目指す地区社協像</p>
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館長や民生委員、地区社協役員で福祉なんでも相談の周知資料（チラシやポスター）を作成する ・民生委員の協力を得てマグネット等を配布する <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助金 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「福祉なんでも相談」の名称を変更する ・地区社協の連絡先や相談の具体例を示した資料等を毎月の館長会や民生委員の定例会で配布する ・福祉なんでも相談を広く周知するためにマグネット等を作成、配布する ・他の事業と一緒に開催する <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食が可能な地区公民館の会議室 	<p>①組織体制:「固定化」から「チーム戦」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人脈を活かし、幅広い人に声掛けしながら年齢層の厚い組織体制にする ・地区社協担当者の増員 ・学校関係者の役員・理事参入 ・関係機関とつながりのある地域 ・専用事務室の確保 ・有給職員の雇用 ・法人格の取得（NPO法人、一般社団法人等） ・策定委員会のメンバーを構成メンバーにする ・有償ボランティアの拡大 ・地元企業の参画 ・動きやすいポストづくり
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校より家庭へ周知してもらう ・不登校児の家庭訪問に民生委員が同行して家庭とつながる ・学校行事に参加したボランティアのつながりでスマイルカフェ祝吉の周知を行う <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都城市地域活性化事業の補助金 ・寄付 ・参加費 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内関係機関との意見交換にて再協力の依頼をする ・対象者を明確にし、目的や想いを共有する機会を作る（自治公民館長・民生委員合同学習会や施設との意見交換） ・小・中学校との意見交換会を開催する <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人への周知のため毎月同じ日に地区公民館で開催する 	
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の協力 ・地域のボランティアの協力（ボランティア協議体） <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協からの補助金 ・赤い羽根共同募金 ・ふれあい文化祭での売上金 ・参加費 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市社協の地区担当者が地区社協役員を対象にデジタル学習会を開催し、SNS（LINE や Instagram）の運用方法等を学ぶ機会を作る ・年間計画書に茶っぴタイムの復活を掲載し、関係機関や地区内の団体に配布する ・民生委員と地区社協役員との意見交換の場を設ける <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館の多目的室、会議室 ・地区内の福祉施設 	

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>安心して暮らし続けていける地域を目指して、気軽に集える居場所をつくろう。</p>	<p>④ふれあいいきいきサロン 各自治公民館で開催、活動への助成</p> <p>⑤料理教室 年1～2回開催</p>	<p>【活動の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで気軽に参加し、交流できる場にしていく（各自治公民館の後方支援） 健康をテーマに簡単な調理、栄養の話を変えた勉強会を開催し、食への関心を高めるきっかけづくりを目指す
<p>地域の力を活かし、お互いに安心できる存在として連携を深め、学びと交流の場を続けていこう。</p>	<p>⑥公民館長×民生委員合同研修会、交流会 年1回開催</p>	<p>【開催頻度の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> お互いを知るつながりの場として年2回開催
<p>地域の声を尊重し、お互いの強みを活かしながら、祝吉のことを一緒に考えていく仲間を増やそう。</p>	<p>⑦地区内関係機関団体との意見交換会 社会福祉施設等連絡協議会に加入している施設との意見交換を年1回開催</p> <p>NPO 団体と連携した地域活動の実施（スマイルカフェ祝吉、茶ついでサロンへの参加・協力）</p>	<p>【ネットワーク構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設、団体、企業の強みを活かした地域活動（フードバンクやものづくり）を一緒に取り組んでいけるようつながりを作る

<p style="text-align: center;">実現するために必要なこと</p> <p style="text-align: center;">①組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</p>	<p style="text-align: center;">目指す地区社協像</p>
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成会や高齢者クラブを巻き込んで開催 ・福祉施設の専門職を講師として招く <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助金 ・福祉協力金 ・地区社協支援助成金 ・赤い羽根共同募金 ・参加費（料理教室） <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三世代交流の場、それぞれの地区に合った活動が行えるように子どもに近いプログラムや防災などのテーマを各自治公民館に提案する ・高齢者や子どもなど対象者をわけて年2回開催する（ふれあいいきいきサロン） ・スマイルカフェ祝吉、茶っぴいサロンと一緒に開催する（料理教室） <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治公民館（ふれあいいきいきサロン） ・地区公民館の調理室や会議室（料理教室） 	<p>②財源：「依存」から「稼ぐ力・応援される力」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人サポーターの募集 ・協賛企業（スポンサー）の発掘 ・自主財源確保のためのツール開発 ・社協のファンを増やして財源確保 ・サロン等のイベント参加費 ・地区社協の宝くじ（抽選方式の協賛） ・人材を活かした収益事業（演奏、手品） ・物品販売 ・場所、物の貸し出し ・有償サービスの導入 ・忌明け寄付の活用
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館 ・民生委員 <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉協力金 ・会費 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長会の定例会、民児協の定例会の日程を合わせ、各定例会後に開催する <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 	
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の施設、団体、企業 ・企画の段階から協力してもらう <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助金 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの活動を知るために年2回開催する ・住民アンケートや生活支援コーディネーターの報告から地域課題を把握し、意見交換会で共有、協働する ・地区社協の情報を発信していく ・地域の施設の行事に地区社協も参加し、日頃より協力し合える体制を作る <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 ・各施設 	

<p>○思いやりの心もち「お互いさま」のささえあいで祝吉に笑顔を増やそう。</p>	<p>⑧ボランティア協議体の立ち上げ</p> <p>ボランティアの調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観日預かり保育 ・保育園、学校行事 ・施設の行事 ・各自治公民館の行事 	<p>【活動の見える化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の誰もがボランティアについて知り、関わりやすくなるよう、活動内容を整理し、必要な情報を届ける仕組みを整える
<p>『せんないかん』の心を大切に、地域とのつながりをひろげ、色々な人と関わる機会をつくりながら、地域のかへとつなげていこう。</p>	<p>⑨まちづくり協議会との協働</p> <p>健康福祉部会に所属</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早水あやめ祭り ・一斉ラジオ体操 ・ふれあい文化祭・福祉ボランティア祭り 	<p>【つながりの場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動から距離があった人を巻き込んで地域に参加できる場をつくる <p>【気づきを地域のかへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援で得た課題や気づきを部会に共有し、まち協と協働して地域のかへに応じた活動を行う
<p>子どもたちとのふれあいを大事にしなが、食支援を中心としたサポートを続けていこう。</p>	<p>⑩学習応援塾「夢学舎」への協力・支援</p> <p>毎月スマイルカフェ祝吉に参加</p>	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食支援を継続していく
<p>地域の活動を発信し、未来の担い手につないでいこう。</p>	<p>⑪「あやめ」の発行</p> <p>年1回発行</p>	<p>【デジタル活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代にも活動を周知するため SNS などデジタルを活用する <p>【発行回数の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回発行する

<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校が窓口となり学生にもボランティア登録、参加してもらう <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助金 ・赤い羽根共同募金の活用 ・利用者の負担金 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議体の名称を考える ・地区社協がコーディネーター役となる ・気軽に楽しみながら参加できるようにポイントカードを発行する <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 	<p>③事務局機能：「事務処理」から「つなぎ役」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局員の配置 ・相談窓口の多機能化（専門相談会、サロン実施） ・週5日開設 ・地区社協にボランティアコーディネーターの配置 ・地区担当2人体制 ・ICTの活用（報告書類の簡略化、デジタル化） ・いろいろな事業で企業とコラボ
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉部会との連携 <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の予算 ・地区社協の予算 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実績（相談内容、相談者の種別等）を健康福祉部会と共有し、地域のニーズに応じた勉強会等と一緒に企画する ・地元企業との連携のため企業リストを作成 <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 	<p>④拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用机を地区公民館内に配置する ・子どもの居場所の開設 ・空き家・空き教室を活用した居場所づくり ・1地区に複数（2つ以上）の拠点化 ・小学校区でのミニサテライト ・なんでも相談室を雑談室に
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の飲食店 ・指導者として教員OBや市職員OBにボランティア登録してもらう <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化事業の補助金（スマイルカフェ祝吉） <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の飲食店とつながり、協力を得る ・ボランティアの調整（ボランティア協議体） <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 ・自治公民館 	<p>④拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用机を地区公民館内に配置する ・子どもの居場所の開設 ・空き家・空き教室を活用した居場所づくり ・1地区に複数（2つ以上）の拠点化 ・小学校区でのミニサテライト ・なんでも相談室を雑談室に
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市社協の地区担当者と地区社協役員と一緒にSNSを更新する <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金 ・国庫補助金 ・福祉協力金 ・施設や企業からの広告費 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動以外にも地域で活動している人を紹介する ・ボランティアのコーディネーター（地区社協）が調整を行う中で地区社協をPR活動する ・1回は手作りで作成する <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 	<p>④拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用机を地区公民館内に配置する ・子どもの居場所の開設 ・空き家・空き教室を活用した居場所づくり ・1地区に複数（2つ以上）の拠点化 ・小学校区でのミニサテライト ・なんでも相談室を雑談室に

地区の風景



スマイルカフェ祝吉のロゴマーク



茶っついサロンのロゴマーク

策定委員会名簿 委員長：山口 洋一 副委員長：桑山 英久

No.	氏名	所属
1	山口 洋一	夢のぼし学習応援塾「夢学舎」塾長・自治公民館連絡協議会
2	桑山 英久	祝吉地区社会福祉協議会 会長
3	外園 文廣	祝吉地区社会福祉協議会 副会長・民生委員児童委員協議会
4	井ノ上 義昭	祝吉地区社会福祉協議会 副会長
5	小堀 博子	祝吉地区社会福祉協議会 事務局長・民生委員児童委員協議会
6	東口 忠雄	祝吉地区社会福祉協議会 会計
7	日高 章子	祝吉地区社会福祉協議会 第2層生活支援コーディネーター
8	茶藪 洋子	祝吉地区社会福祉協議会 事務局員
9	鶴吉 大輔	祝吉・沖水地区地域包括支援センター 管理者
10	川崎 弘	小規模多機能ホーム一休庵いわよし 管理者
11	原田 哲也	認定こども園こおりもと保育 園長
12	那須 史代	特定非営利活動法人さらだ 理事長
13	上徳 浩太郎	都城市立祝吉中学校 校長
14	遠目塚 敬子	祝吉地区民生委員児童委員協議会 副会長
15	今村 昇	祝吉地区自治公民館連絡協議会 会長
16	山下 孝一	祝吉地区まちづくり協議会 会長
17	渡瀬 登	株式会社トーア 代表取締役社長
18	矢野 司	有限会社司工務店 代表取締役
19	甲斐 圭子	特定非営利活動法人らしく 理事長